



社員の社員、そして三菱自動車の

業不祥事は、各方面に大きな影響を与えています。株主総会で怒る個人株主、いつ火を噴くか不安でも運転せざるを得ないパジェロの

おお、パジェロよ、お前もか！

昨今の三菱自動車に関連する企

# ディスクロージャー(情報開示)は日本活性化の原点だ



第 42 号

発行所

〒157-0066

東京都世田谷区成城1-13-1

武蔵工業大学付属中・高等学校内

電話 03-3416-4161

発行責任者 阿部俊夫

編集責任者 清水茂

神田 清人(第二十一期)

社員、ディーラーなど各々の立場で三菱自動車の行く末を案じています。

なぜここまで企業としての社会的責任を果たさなく三菱自動車は企業として没落したのでしょいか。三菱グループの体質であるとか、経営陣の独断であったとかどれもまことしやかに囁かれています。私が、私はひとつの原因が情報開示にあると考えています。適切

な時期に情報開示せずに、問題を先送りしてきたツケが現在の状況を招いたのです。後ろ向きな情報開示は企業の業績に大きなマイナス要因を与える結果になってしまいました。

## 情報開示は「金食い虫」？

ディスクロージャー(情報開示)とはいったい何者でしょう。英語では Disclosure。否定を表す接頭語の「Dis」と閉ざすを意味する「Close」の名詞形が合わさった言葉です。つまり「閉ざすことをしない」「終わらない」という意味から「情報を出すこと」「情報を公開すること」という意味になりました。

上場企業においては、株主や投資家への情報開示を特に「インベスター・リレーションズ」と呼び専門部署を設ける企業もあり、年々その認知度が高まってきました。しかしながら、本当に必要な情報を、必要な時期に、必要な人に企業は提供してきたでしょうか。形はつくったが機能していない状況ではないでしょうか。日本には、「聞かれたことには答えるが、聞かれないのだったら答えない、そ

詳細は2ページで

## 本年度の総会・懇親会は

日時 平成16年11月12日(金)  
午後6時30分より(遅刻可)  
会場 渋谷・エクセルホテル東急  
(渋谷マークシティ内)

## 新名簿5号発行について

「柏」41号にてお願い致しました“不明者調査はがき”を有難うございました。逐次名簿発行の準備を行っているところです。発行予定が遅れていますがご了承下さい。  
名簿発行準備(委)

の必要はない」という企業文化が歴史的にあります。良く言えば「沈黙は金(きん)」でした。21世紀になりその姿勢は大きく転換する必要を迫られています。私はこれを「情報開示は金(かね)」と言っています。

いままでは、情報開示をすることは後ろ向きの企業活動であると企業内では認識されてきました。なぜならば、製品を売る、サービスを売って稼いでくる部門ではなく、間接部門でしかあまり必要のない「金食い虫」の部門である

とされてきました。本当にそうでしょうか。

検証：「もしバジエロがいち早くリコールを公表し車両改善をしていたとするならば」

私がバジエロのオーナーであると仮定します。熱狂的なファンで、パリダカでは三菱車を応援しています。スキーに行くのもバジエロで、週末に郊外のスーパーにバジエロで買い物に行きます。四輪駆動だったらバジエロだと友人たちにも話しています。2004年6月になって私は車に乗りません。なぜならば、いつ火を噴くか、火災を起こすかわからないからです。また友人たちにも馬鹿にされ、子供たちも車に乗りたがりません。学校で子供たちが家の車のことで差別を受けるようになりました。家内に売却するように言われ、中古車買取店に行きましたが値がつかせませんでした。いったい私が何をしたのでしょうか。私はどうすれば良いのでしょうか。もう二度と、バジエロは、いや三菱車は買いません。

\* これは、フィクションの話ですが、多かれ少なかれこのように思

っているバジエロのオーナーはいらっしゃるでしょう。もしバジエロがいち早くリコールを公表し車両改善をしていたとするならば、どのように変わっていたでしょう。

\* 「三菱自動車のリコールのお知らせが新聞にいち早く公表されていたし、ディーラーから郵便連絡がきた。担当セールスマンからも電話があった。さすが三菱自動車だ。早い対応だ。早速リコール対応を依頼すると、即日対応してくれた。納車の時には、リコール箇所の説明、対応策、また丁寧にも他の点検もしてくれ、洗車もしてあった。次も絶対にバジエロにしよう。ランクル買う奴の顔が見たいね。」

\* このようになっていたでしょう。この検証でもわかる通り、三菱自動車は大きな過ちを犯しました。それは、ファンを裏切ったこと、熱狂的なファンの全てを喪失し、もう戻れないまでにしてしまったことです。最大のセールスは既存顧客を大切にすることです。既存顧客の中でもファンはファンを呼び、ファンを創ります。IRでも同様で、既存株主のファンは投資

家に良い影響を与え長期安定優良株主になります。また、優良株主は製品ファンにもなります。私はこれを「インベスター・マーケティング」と呼んでいます。

\* 昔は「風が吹くと桶屋が儲かる」と言いました。今は「情報開示すると会社儲かる」時代にな

りました。ネガティブ情報はいち早く開示し、その対応策を会社側は知っていて対応していることを、情報の受け手に理解されるように説明すること。これが正しい21世紀に生き残れる企業姿勢なのです。  
☆第21期・情報開示エキスパート  
090・3236・6394  
kiyoto@jedgar.co.jp

## 総会・懇親会へのお誘い

卒業生の皆様、ぜひお出かけ下さい

- 日時 2004年11月12日(金)  
・18時30分より総会  
・19時より懇親会
- 会場 渋谷・エクセルホテル東急(渋谷マークシティ内)  
6階プラネッツルーム  
TEL.03-5457-0109
- 会費 ●個人参加4,000円(食べ・飲み放題)  
●グループ参加(同級生・先輩・部活仲間に声を掛け合って3名以上のご同伴で)  
・3名参加=10,000円  
・4名または5名の参加=  
追加1名につき3,500円  
・6名以上での参加は上記3名参加2グループとします。

(注意)会場は従来の東急ゴールデンホールが閉鎖されましたので、前々回からは新しく上記会場となりました。是非ご来場下さい。今からご予約を!

## 第 28 回 総会 報告

総会日時 平成 15 年 11 月 14 日 18:30～  
エクセルホテル東急

### 2002 年度 (2002 年 10 月 1 日～2003 年 9 月 30 日) 活動報告

- '02.11.08 第 27 回総会 於エクセルホテル東急 (6 階) マークシティー内  
第 1 号議案～第 5 号議案 全て原案通り承認されました。  
懇親会 於エクセルホテル東急 (6 階)
- '03.01.24 第 2 回理事会  
①卒業式の件 ②同窓会名簿更新の件  
③HP の件 ④学校側窓口変更の件
- '03.04.18 第 3 回理事会  
①球技大会への参加の件 ②『柏苑祭』の件 (日程の大幅変更)  
③『武蔵クラシック』の件 (担当: 宮原理事)  
④学校側窓口変更の件 (小野寺先生から小泉先生へ) ⑤総会開催場所の件
- '03.04.20 『柏』40 号発送 2,500 通
- '03.06.20 第 4 回理事会  
①『柏』発行準備報告 ②球技大会の件 (報告)  
③『柏苑祭』の件 (担当: 中沢理事)  
④『武蔵クラシック』の件 ⑤HP の件
- '03.08.22 第 5 回理事会  
①『柏苑祭』(先生方の講演依頼) (担当: 中沢理事)  
②『武蔵クラシック』報告 (担当: 宮原理事) ③HP の件  
④『柏』の原稿の最終締め切り (秋号 座談会の件) ⑤総会準備
- '03.10.20 『柏』41 号発送 8,000 通
- '03.10.24 第 6 回理事会  
①総会提出議案書作成  
②その他

### 2002 年度 (2002 年 10 月 1 日～2003 年 9 月 30 日) 決算報告

#### 一般会計報告 (収入の部)

科目	予 算	決 算	内 訳
入 会 金	780,000	768,000	50 期生 256 名
年 会 費	1,650,000	1,555,000	50 期生 256 名、その他 262 名
引 継 金	4,031,697	4,031,697	前期より
雑 収 入	1,000	487	預金利息
写 真 集 代	0	3,000	
合 計	6,462,697	6,358,184	

#### 一般会計報告 (支出の部)

科目	予 算	決 算	内 訳
会 議 費	120,000	42,052	理事会 4 回
総 会 費	200,000	205,300	
『柏』制作費	30,000	49,999	座談会 1 回
通 信 費	1,000,000	790,421	『柏』39 号 ((@90 × 5,134 + @80 × 2,935) × 0.91) 『柏』40 号 (うち ¥128,160), 他
印 刷 費	700,000	632,825	『柏』39 号 (9,500 部) ¥233,670 『柏』40 号 (9,500 部) ¥205,700 他
発送アルバイト費	200,000	170,000	
事 務 費	40,000	10,140	
同窓会賞費	80,000	50,000	図書券
小委員会費	25,000	0	
名簿整備費	50,000	50,000	
柏苑祭費	30,000	19,560	

HP制作費	200,000	0
会員交流補助費	40,000	0
予備費	100,000	0
繰越金	3,647,697	4,337,887
合計	6,462,697	6,358,184

名簿会計決算報告

科目	収入額	支出額	内訳
前期より繰越	- 362,333		
名簿販売代金	2,800		
印刷費		0	
通信費		0	
次期繰越金		- 359,533	
合計	- 359,533	- 359,533	

第 27 回総会決算報告

科目	収入額	支出額	内訳
会費	52,000		
景品		28,400	
懇親会費		228,900	
総会援助金	205,300		一般会計より
合計	257,300	257,300	

繰越金総額

一般会計繰越金	4,337,887 円
名簿会計繰越金	- 359,533 円
合計	3,978,354 円

繰越金内訳

定期預金口座	639,231 円
貯蓄預金口座	916,988 円
普通預金口座	49,458 円
郵便振替口座	2,065,628 円
現金	307,049 円
合計	3,978,354 円

上記の通り 2002 年度の会計報告を致します。

2003 年 11 月 14 日

会計 上島正義印 今井章久印

会計監査報告

上記、会計内容を監査の結果、正しく表示、掲載されていることを認めます。

2003 年 11 月 14 日

会計監査 白井康雄印

2003 年度 (2003 年 10 月 1 日 ~ 2004 年 9 月 30 日) 予算案

収入の部

科目	予算	内訳
入会金	780,000	51 期生 260 名
年会費	1,650,000	51 期生 260 名 その他 290 名
引継金	4,337,887	前期より
雑収入	1,000	預金利息
写真集代	0	
合計	6,768,887	

支出の部

科目	予算	内訳
会議費	120,000	理事会 6 回
総会費	200,000	総会援助金
『柏』制作費	30,000	編集委員会 2 回
通信費	1,000,000	『柏』40号(残¥110,000) 41号(¥640,000) 42号(¥240,000)、他
印刷費	700,000	『柏』41号9,500部¥200,000 42号9,500部¥300,000, 封筒他
発送アルバイト費	200,000	『柏』発送アルバイト
事務費	40,000	
同窓会賞費	80,000	
小委員会費	25,000	
名簿整備費	50,000	名簿管理アルバイト
柏苑祭費	30,000	
HP制作費	200,000	
会員交流補助費	40,000	武蔵クラシック補助
予備費	100,000	
繰越金	3,953,887	
合計	6,768,887	





■ 2003 年 11 月 14 日渋谷エクセル東急ホテルの一室はまさに「懐かしい顔」で埋め尽くされました。総会では規約に従って承認事項の決議を無事終了し、懇親会に移りました。毎年

出席していますが、来年こそはクラスやクラブの同期会をこの場でやりたいと思うのですが、今年もできなかったと反省する次第です。

## 懇親会報告



■ 懇親会では、世代を超えた同窓生が気楽に話せ、とても雰囲気の良い中での「阿弥陀くじ」が行われました。今年の景品の多くは何と「柏苑祭」のバザーで仕入れたものだそう。同窓会でホームページを立ち上げると聞いて、誰かに会えそうな、何か起きそうな気がしている。次回も出席しよう。

# 理事会報告

事務局長 塩満 守(19期生)

昨年の11月総会終了後から、早いモノで年が明けたら直ぐに卒業式(49期生)、入学式(52期生)と立て続けに出席し、気が付いたらもう6月も末になって居りました。ここ数年、企業も景気低迷を何とか乗り越えようという事で、あらゆる手を尽くして企業再生という事に着手してきましたが、切り札がないままにここまでズルズルと来てしまいました。

ここに来てやっと(少しではあります)明るい光が見えかけては参りましたが、まだ夜明け前と言った感じからは抜け出せずもいております。この様な事が原因とは言い切れませんが、ここ数年同窓会が低迷しております。特に去年・今年には総会を含むイベントが総崩れ状態です。何とか頑張つて、建て直したいと考えてはおりますが、バブル崩壊の傷はここまで来ているのかと言わんばかりの惨憺たる状況です。今年度は更なる努力をし、理事一同活動に邁進致します。何卒、同窓会会員一同様に於かれましては、御協力宜しくお願い申し上げます。

## 1、総会・懇親会報告

一昨年をもちまして、同窓会会場は東急グーデンホールに別れを告げ、昨年からは渋谷エクセルホテル東急に会場を移し、新たな出発という事で期待を込めてスタートしましたが、昨年は準備不足という事もあり、盛り上がりには欠

## 《公示》同窓会総会開催について

第29回総会を下記の要領にて開催いたします。同窓会会員(卒業生)はご出席下さい。

厳しいご時世ではございますが、ある意味で同じ釜の飯を食った人間同士、それぞれの専門分野で活躍なさっていると思います。情報交換や、今後の人生の糧となる交流をしましょう。先輩方・後輩方との利害のない親交も貴重です。

記

日時 2004年11月12日(金) 午後6時30分より  
場所 渋谷・エクセルホテル東急 6階プラネッツルーム  
議題

- 1号議案 2003年度(2003年10月1日～2004年9月30日)活動報告
- 2号議案 2003年度(2003年10月1日～2004年9月30日)決算報告
  - ①一般会計報告
  - ②名簿関係収支報告
  - ③第28回総会決算報告
  - ④繰越金内訳
  - ⑤会計監査報告
- 3号議案 2004年度(2004年10月1日～2005年9月30日)活動計画
- 4号議案 2004年度(2004年10月1日～2005年9月30日)予算案
- 5号議案 役員改選
- 6号議案 その他

### 懇親会のご案内

総会終了後、同一場所において懇親会を開催いたします。週末の夜、仕事を離れ、懐かしい友や先生方と飲食を共にしながら楽しいひとときを過ごしてはいかがでしょうか。お仕事の都合で総会に間に合わない方でも歓迎いたします。

日時 総会終了後(7時開会予定)  
場所 総会と同じ場所(楽しい企画を楽しんでください)  
会費 巻頭ページ参照(飲み・食べ放題)

\*参加者を増やしたい事務局の意向に是非ご協力ください。

けた会となつてしまいました。その反省も込めて、早めの準備に取り掛かり、会には門校長先生を始め、先生方にもご参加頂き、盛り上げようとしたモノの、ここまでの景気後退も含め、卒業生の集まりが悪く、今一盛り上がりに欠けた総会(懇親会)となつてしまいました。

ております卒業生で、丁度団塊の世代にあたる方々(13～16期生)の中の何人かの方から名刺を頂きました。…エッ、何で今更とは思いましたが、よくよく見ますと昨年の会社とは名前が変わっていたり、役職が変わっているのです!? そうなんです、彼らは今年55歳という年になり、役職定年や、子会社に向向、転籍といった節目を迎えていたのでした。(まだ、多くの企業が

## 第46回「柏苑祭」



当日、母校を訪ねて久しぶりに  
先生や仲間と語りませんか！

日時 平成16年11月6日(土)・7日(日)

場所 武蔵工業大学付属中・高等学校

(小田急線成城学園前駅下車徒歩10分/田園都市線二子玉川駅よりバス20分)

新校舎 教室未定

●退職された或いは退職される先生の講話(懇談を交えて)

現在、交渉中です。

●進学・入学相談コーナー

昨年度の同窓会の部屋では卒業生であるご父兄がご子息を将来入学させたいけれどとのご相談で多数ご来場下さいました。同窓会として適切なアドバイスを致しております。遠慮せずにご来場下さい。

●喫茶コーナー

相変わらず遣っているのですね、旧態依然たる年功序列の人事を。(これじゃ、日本はまだまだ良く成らないな？(力があっても無くても歳が来れば、力に何ら関係なく、自動的に人を動かしてしまふ様な人事がまかり通る様では)と、思ったのは果たして私だけだったのでしょうか。ここに集まる方々の動向を見て居ても、社会の縮図を見ている様な同窓会(懇親会)でした。

今回は、明るい同窓会に出来る様、努力させて頂きます。

### 2、同窓会賞の見直しについて

ここ数年、我々の頃には無かった行事として、高校の球技大会(5月の連休を挟む数日間で行われている)が有ります。(中学校は、全校で体育祭を実施しております)昔は中・高一緒の体育祭でしたが、今は二つに分け別々に実施致しております。同窓会としては今まで毎年「同窓会賞」として、昔はテレフォンカード、最近では図書カードを景品として提供して参りました。しかしながら、携帯電話の普及によりまして、テレフォンカードの意味合いが無くなり、図書カードに、最近の子供達の本離れ等々から、昨年これも改め、まとめて「同窓会賞」としてトロフィーを出す事となりました。

最近、理事会で、これについて再度見直して見ると、と言う意見が出て参りました。球技大会に景品を出すだけで良いのか？もし出すのなら、子供達が貰って喜ぶモノ、印象に残るモノといった観点から、再度見直してはとの意見が出ております。(これは同窓会費の効率的利用を含めた)これから何回かの、理事会におきまして話合つて決めたいと思っております。妙案・ご意見をお持ちの方がおりましたら、どしどしご意見を頂ければ幸いです。

### 3、HPの開設

同窓生の要望が強く、ここ数年、話が出ては消えておりました同窓会HP開設の件につきま

して、ここに来てやっと動き出すことが出来ました。当初、開設後のメンテナンス等も考え、武蔵工業大学附属高等学校のHPの下にぶら下げると言った形態を取る事も考えて居りましたが、やはり学校側とは一線を引いて、独立させたいと言う(同窓生の)意見が多かった事もあり、現在は独立して立ち上げる事で企画しております。内容的には、「柏」に代わるデジタルコンテンツと言った意味あいを強くし、今まで季刊(年2回または3回)で同窓生に送付していたモノを、PC上で見ればいつでも何処でも見られると言った事や、出来る事ならもう少し短期間で更新して行ければ、最新、且つ多くの情報を流せると言った事も狙っております。また、大きな狙いとして、同窓生相互(場合によっては、教職員にもご参加頂き)の情報交換の場所にしたと言ったのが、目標です。

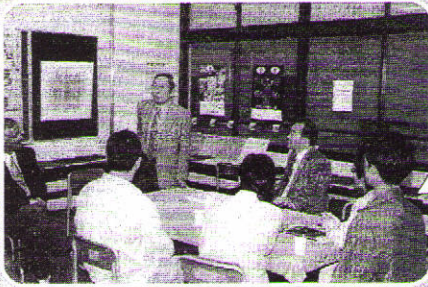
最近、巷で話題になっているソーシャルネットワークに近いモノも考えております。(あくまでも、同窓生のための相互通信です)掲示板や、チャットルームと言った新しい試みも考え、同窓生の中での共通の話題を持った人達の、新たな集まりを創って行くと言った話題造りにも利用できたらと思っております。

これにつきましても、同窓生からのご意見をお待ち致すと共に、このHPの管理をお手伝い頂ける同窓生の登場も心よりお待ち致しております。何とか、夏休み明けまでには立ち上げたいと考えております。皆様の御協力、お待ちしております。

(連絡先) 塩満守 Shiomitsu@tomoe.jp

# 第45回柏苑祭に 参加して

副会長 中澤 宏 (13期生)



昨秋十一月二日、三日に母校での最大の行事である「柏苑祭」が開催され、当同窓会は例年の如く学校側の取り計らいで一つの教室を開放していただいた。

展示はさほど大きな変化はなく、例年の如く母校の歴史などの掲示やアルバムといった卒業生が入室した時に過去を懐かしむことが出来るものとした。と言いか成ってしまった。

今回は、近々定年退職されるご予定の我々にとつての懐かしい先生、前島巖(体育)、大原完治(物理)、尾崎英昭(国

語)、吉田鎮雄(生物)、佐藤嘉晃(社会)の各先生方に、集まった卒業生を相手に再履修を兼ねて講義していただいた。

各先生には、毎回この「柏苑祭」の同窓会の部屋での講義をおねだりしているが、イヤな顔ひとつも見せずに私達OB連に当時の思い出話を我々OBとの会話の中から探り乍らも、突然思い出した様に懐かしく語られてる。(卒業生を送り出す先生方は、何千人単位の生徒なので仕方ないか)私も若年性アルツハイマーになりそうな昨今の社会情勢

の急激な変化に埋もれつつも、当時の状況や事件を破れたポケットの底に引掛かったものを溜まったゴミと一緒に引っ張り上げてくるが如くに一生懸命探るのであった。

講義中には、私たちの時代の漢文・古文授業でお世話になった、かつ印象の強かった須藤豊彦(旧姓金森)先生「現在には國學院大学文学部教授」が突然、意表をついて一人でなだれ込み、特別講義と相成った。須藤先生は、現在では「歌謡史」を研究され、今回の臨時講義は、日本の農家に伝わ

る「田植え唄」の由来など独特な語り口で私たちも当時の授業を思い起こしたのです。

しばしの文化講演に会場もさらに盛り上がり、終了後も今回講演をお願いした先生方と懐かしそうに交流されました。

今後も我々卒業生ならずとも退職された先生方もこの柏苑祭における「同窓会の部屋」へ思い出した様に結構です。是非、ヒョコッと顔を出して下さい。卒業生もきっと意外な出会いに心弾ませるであろうことを確信致します。



# 35年目の高3C 中年パワー で同窓会実現

「あのときは青くなって警察に飛んで行った」と門校長談



小林英世  
(株式会社社交文社)

今回の高3C組、35年ぶりの同窓会に駆けつけてくださいました皆さん。連絡は付いたものの都合がつかず参加できなかった皆さん。名簿のメンテナンスに新しい情報を提供してくださいました皆さん。幹事として打ち合わせや様々な連絡、会場の手配等に忙しい時間を割いてくれた時田君、尺田君。更に幹事グループをリードし、同窓会実現にこぎ着けた奥秋君。そして現在、武蔵工大付属中高校の校長として忙しく過ごされておられる、当時の担任だった門先生。これら、参加あるいはご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

会場は我々になじみ深い街渋谷のエクセルホテル東急で、落ち着いた高級感のあるなかなか良いバンケットです。

当日、次々に受付をされる顔は面影がありすぐに「おお」と互いにすぐにわかる人がいる一方で、前日、卒業アル



バムを探し出し予習をしていたにもかかわらず「さて」と思い出せない方もおり、35年の月日は確かに重いものだとつくづく思ったものでした。薄く、白くなった髪の毛や目尻や顔に刻まれたシワは皆どこにでもいそうな中年男そのものですが、皆さんそれぞれに責任のある地位から来る貫禄もなかなかのものでした。とは言

うものの、53歳の顔を当時18歳の面影に調整するのに意外と時間はかからず、すぐに当時のまま「クン」や呼び捨ての会話になつてしまいました。

私も「えいせい」と35年ぶりに当時のままに自分の名前を音読みで呼ばれ、違和感なく返事をしてることに後になって驚きましたし、自分もいつの間にか当時の呼び方を人と呼んでおりました。

17・18歳の高校生から見ても、現在の我々より遙かに若かったのも驚きでした。また、ご挨拶をいただいた門先生が当時のことを事細かに覚えており、特にその内容がご苦労をおかけしたことがかりとあっては、一同笑ってごまかすしかありませんでした。

53歳という仕事や家庭、人生もそろそろ後半にさしかかり、振り返る部分はこれからますます長くなると意識するこの頃です。

この同窓会というものがいかにも楽しく、とうとう三次会まで先生にもおつきあいいただきました。





さてです。ここで我々第16期、高三C組同窓会開催をきっかけに、第16期「学年同窓会」開催が話題になってきました。ひとつ、骨を折ってみようかという人。名乗りを上げてみませんか。ちなみに自分が何期か分からない人。参考までに申し上げます。

奥 秋 光 (NOK株式会社)  
お久しぶりです。

昨年11月に渋谷で開催された付属高校OB会で34年ぶりに門先生にお会いした事が、今回の同窓会開催のきっかけでした。約6年振りの出席でしたが、残念ながら16期は私一人でした。その際、先生からぜひクラス会を開催しろとの、厳命を仰せつかってまいりました。その後、尺田・時田両君と更に、大学の30周年の幹事に小林君をみつけ、私の独断と皆様のご協力により、2月に自由が丘で4人が集まり、結果的に35年ぶり開催にこぎつける事が出来ました。また、この間電気工学科の同窓会の理事である今井助教からは、名簿等でもご協力を頂きました。

た。感謝を申しあげる次第です。

当日の意見にもありましたが、次回に、次回は、全学年で一室に会し、成功させたものですね。是非この事も「相」でアピールして頂くよう、小林君に後のフォローを御願い申しあげます。参考までに大学の卒業30周年記念同窓会は、出席率が約12%程度でしたが、これから比較すると今回約30%というのは、すばらしいと感じております。



尺 田 知 己

(株式会社 観光企画設計社)

昨年の暮れに、奥秋君を通じて第16期高三C組のクラス会の幹事を引き受けるよう連絡がありました。時田君、小林君と手分けして参加を呼びかけたところ、35年ぶりのクラス会に担任の門先生を含め18名が参加し、旧交を温めるひ

アメリカ教育使節団報告書(抄)

(昭和21年3月31日)

日本の教育の目的および内容 高度に中央集権化された教育制度は、仮にそれが極端な国家主義と軍国主義に網の中に捕らへられておかないにしても、強固な官僚政治にともなふ害悪を受けるおそれがある。教師各自が画一化されることなく適当な指導の下に、夫々の職務を自由に発展させるために、地方分権化が必要である。かくするとき教師は初めて、自由な日本国民を作り上げる上、その役割を果たさねばならぬ。この目的のためには、ただ一冊の認定教科書や参考書では得られぬ広い知識と、型通りの試験では試され得ぬ深い知識が、得られなくてはならない。カリキュラムは単に認容された一体の知識だけではなく、学習者の肉体的および精神的活動をも加へて構成されるものである。それには、個々の生徒の異なる学習体験および能力の相違が考慮されるのである。それ故にそれは教師をふくめた協力活動によって作成され、生徒の経験を活用しその独創力を発揮させなくてはならないのである。日本の教育では独立した地位を占め、かつ従来は服従心の助長に向けられて来た修身は、今までは異なった解釈が下され、自由な国民生活の各分野に行きわたるやうにしなければならぬ。平等をうながす礼儀作法、民主政治の協同精神、及び日常生活における理想的技術精神、これらは、皆広義の修身である。これらは、民主的学校の各種の計画及び諸活動の中に発展させ、かつ実行されなくてはならない。地理及び歴史科の教科書は、神話は神話として認め、さうして従前より一層客観的な見解が教科書や参考書の中に現れるやう、書き直す必要があらう。初級中級学校に対しては、地方的資料を従来より一層多く使用するやうにし、上級学校においては優秀なる研究を、種々の方法により助長しなくてはならない。

と時を過ぎる事ができました。

35年ぶりの再会にもかかわらず、しばらく歓談するうちに、高校時代の当時に戻ったような連帯感が感じられるようになり、門先生共々三次会まで席を改め、当時の思い出話や近況など語り合う楽しい場になりました。

今回は第16期の学年同窓会が開かれる事を期待してお開きとなりました。

武蔵工業大学付属高校 第16期高三C組同窓会  
日 時・平成16年4月17日(土)  
場 所・渋谷エクセルホテル東急  
出席者・門先生、17名



昭和35年世田谷深沢の寄宿舎より面接会場に向かう。等々力駅から尾山台駅で降り多摩川方面に歩き出した。

3分ぐらいで今の環八その前は、来た道を振り返る。閑静な高級住宅街と多摩川を一望、環境は最高。面接場所に足を踏み入れる。工大の事務所を含めなんとも無愛想な対応の面々でした。面接は、体育科、佐藤・西谷・原氏。「それでは明日から来てくれ」と故佐藤黒ブタ体育主任、郷里の静岡で錦をと思っていたので腰掛程度に考えていたのが、なんと43年間、一方ならぬお世話になる始末。

尾山台駅前の外食券食堂滝谷の2階に居候、4年間徒歩10分余りの通勤、学内に寄宿しているようなもの。日体の水泳部でウォータポロに身を沈めた体力任せ。朝一から暗くなるまで熱血漢まがいの毎日でした。

部活は、言うまでもなく水泳部。プールがなく水泳の練習は、多摩川園内のプールを借用、攻玉社や東横学園などと同居練習、夏休みは、尾山台中学などを借りてのジブシー生活でした。合宿も宇都宮・静岡・富士・長野・学内と転々、富士の湧き水の超冷さ。長野では、リング畑の中にあるプーリングをかじりながらなご思い出が湧いてくる。2年間は、私も国体に

### わが人生ムサ校(定年を迎えて)

前 島 巖 II 体育科 II

選抜されたため、一緒に練習。3位に入賞。最初の担任は、11期生。担任は、福寿社会、川崎(英語、東大の女子1期生有名)、西川(数学)、途中向井(理科)に替わる。と私の4組編成でした。腕白ぞろいの連中だけに思い出もいまだに鮮明です。現在、大手の社長さんもでている。彼らとは、8歳違いですから58歳の親父さん達。

尾山台の回想はいっぱい。工大の格上げで付属も偏差値の急騰、わんさと押しかける受験生の採点で徹夜の始末。久米宏氏もこの尾山台校舎で中学を卒業。

多摩川べりでの体育授業。11泊12日北海道修学旅行。一方世の中は、安保騒動、オリンピック

クを迎え、高速道路や新幹線と高度経済成長に入っていく。そして39年、成城へ移転。東急建設の公共施設の試作品と聞くが定かでない鳴り物入りの近代施設、都内随一の理科施設、今では迷路施設とも言われる。

その当時は、すべてにおいて有頂天の毎日でした。グラウンドの広さ、整った施設、何よりもプールが青々と水面を波立っているのが堪えられない。生徒もそれに応えて闘達で生き生きとした日々を送っていたが、4、5年後に学生運動の波がわが校にも押し寄せ、一部の生徒であったがヘルメットなどかぶり、体育館前から一

号館、柏の樹ロータリー(一号館改築で今はない)の周りを氣勢を上げてデモ行進。生徒た

ちも一時荒れて振り回されもした。それらも落ち着くとそのエネルギーは、部活に学業にと発揮された。わが水泳の全盛期もそのころ大森・原田・瀬本・佐々木達が関東大会に出場。その後して、俳優、千代の富士物語の主役の宮下直紀氏、スポーツ万能・血気盛んでした。高中正義の柏苑祭での人気はすこかった。中学時代野球部のエースだったが、肩を壊し退部した周防正行映画監督。作家の吉目木晴彦氏。理系方面では、大手企業中堅幹部を多数輩出している。20年以上続いた全生徒による体育祭での盆踊り、生徒たちが嫌がるのを追いかけ回しての練習。回想は、走馬灯ごとく。

体育の教師37年、教頭6年。今は、少子化を迎え学校も聖域にあらす旧態依然とした武蔵工気質では衰退の一途。偏差値でいえば60から47、8まで下がってしまった。遅まきながら改革を余儀なく喧々囂々口角泡を飛ばしての議論の末、5ヶ年計画案を打ち出してスタートしたのが平成11年、5年前。路線での総

余儀なく喧々囂々口角泡を飛ばしての議論の末、5ヶ年計画案を打ち出してスタートしたのが平成11年、5年前。路線での総





括を今やっている。総括も武蔵工の良い面を残しつつ発展を祈念してやまない。校舎も老朽化で見直し、今のニーズに合い30年後を睨んだ新校舎建設を検討。一線で活躍している先輩などのアドバイスを聞き、2、3年後には生まれ変わると聞く。私も退職1年が過ぎ、学校の様子が薄らぎ哀愁の粹に入りつつある。

定年後1年は、午前中はスポーツジムに通い健康維持、体を鍛えている。10年若返ったと自信をもっている。午後は、碁会所に6段の腕前を振るっている。インターネットで株も老化防止でやり始めた。それとバンダーネット碁で瞬時に世界の碁キチと打てる文明の利器などもやっている。そしてゴルフ(7月20日の同窓会コンペにはできる限り参加したい)・カラオケと余念なくもう毎日が天国。残す課題は、どこかの島に渡って心行くまで海釣りを堪能すること、目下場所を探している。こんな恩恵も、長い間よく働いたご褒美と自画自賛しての毎日です。

歴代水泳部の面々と飲み交わし昔を懐かしむ楽しみも、年に1、2回ある。今年の5月と10月には、教え子の結婚式が入っている。これも懐かしい面々に会える楽しみ。成長の証の再会と教師冥利を味合わせてくれた武蔵工に乾杯。同窓会諸氏の今後の活躍にエールを送りペンを置きたい。

### 編集後記

参議院通常選挙も終わる。選挙前よりマスコミが何か月も前から「及び腰」ながら、「政権交代か」と世論を小見出し記事で煽つた割には投票率は56・57%という結果。及び腰報道に対する選挙後のマスコミはアリのバイ作りに大見出しで躍起。国民有権者の二人に一人しか、この期に及んで「投票行動」をしていないことである。組織票がある意味いまままで通り動いただけである。まったく情けない話ではある。現与党に対する不信感のための棄権行動「棄権」することは組織票を助けることに。政治に無頓着にさせられてきたのか、将又、税金制度の如く恣意的に政治を難解にさせて煙に巻いてきたのか。将又、政治に対する諦めの境地の現れなのか。オーストラリアでは、60%を越えないと再度選挙だそうだ。義務だからである。罰則もある。政治に国民が無責任であることが許されない。当然である。明治以降、昭和に入り国策の誤りにより第二次世界大戦に突入のち惨敗。

戦勝国より与えられた民主主義らしき形式上の自由を、「これが自由」であると錯覚したまま、現在に至る。欧州の先進国、特にフランスなど、市民革命をたび重ねることで市民自ずから「民主主義」を勝ち得てきた国と比較することは空しい。と同時に先進国がうらやましくも有る。

先般、会社からの帰宅途中の電車の中、地下から地上へと車両が移動し、私は吊革につかまり雨と変わった窓の外の景色を眺めていた。いきなり混雑している車両の一人おいた隣の前の椅子に腰掛けている乗客(一人はO.Lだったと思う)の上に網棚から車両の動揺により、固く重そうな「ビジネスバック」が膝の上に落下した。周囲は驚いた。おそらく乗車時に混雑していたので、このカバンの持ち主は混雑して網棚まで達かたの手を差し伸べ、不安定ながら載せたのであろう。私は近くにいいたのでビックリしたと同時にすわっていた乗客もさぞ痛い目に会ったことだろうと同情した。

しかし、このカバンの所有者である乗客はその「重く固いカバン」を再度、今度は落ちないようにと網棚深くに載せた。「何も語らずに」である。被害に会ったすわっている乗客は当初は、その乗客を見上げて痛そうな顔をしていたのだが両人と

も次の瞬間、何もなかった様に一人のO.Lは携帯電話に目を移し、メールを。もう一人は腕組みをして目を閉じてしまった。

この時瞬間、私は考えた。争い事を奨励している訳では決してないが、この「重い固いカバン」の官僚面した持ち主は、恐らく、電車が動揺したのが落下した原因であり、私の不注意ではないのだ」と頭の中で責任を転嫁したのだろうか。……

また、被害を被った二人の腰掛けていた乗客は一時痛そうなる迷惑顔をしたものの返す言葉を「勇気?」がなく、発せなかったのだろうか。ちよつと待ってもらいたい。相手が色眼鏡をかけたパンチパーマの「ヤ」の字稼業風の男なら、後の自分の身の危険を察して誰もが同様の反応を示すだろう。私だつたら失礼にならない様にも加害者に助言を心掛けている。争いごとを嫌うのは私たちが「ケンカをしてはいけません!」と幼稚園児の頃から小学校へと進学して、親や先生や文部省教育がいいか悪いかどうか解らないが、「理不尽」「常識外れ」であれば怒らなければいけない。誤りもせず「しらを切る人間」には「その様な事を考えていると今の社会に「蔓延」している。長い物には巻かれよ」「君子危うきに近寄らず」的な国民と先程出演していただいた官僚面した乗客(ついでに言えば悪辣極まりない政治屋を含む)との接点を国民との間に見いだすことは到底不可能なことだろうか。やりたいた放題を許してきたのは何を隠そう私たち国民の側一人一人なのである。

学歴社会とやらで皆がそれぞれエリート面を羨しながら私たち国民一人一人が苦しんでいるのである。この世の中に「エリート」なぞ存在しないのである。まったく幻想なのだ。昨今は幻想ばかりが一人歩きしているという現状を再認識して、文句を「民主的な行動」に移すことがこれ程大事な時期はない。

▼お詫び▲

先号の「編集後記」の記事の中で「政府はその国の国民の政治レベルにあった政府しか持つことができない」「正」「国家はその国の政治レベルにあった政府しか持つことができない」の誤りでした。

5ページ「柏苑祭」広報 第46回 正 第45回 (十四期生 清水)